

木更津歴史愛好会会報

平成 21 年
6 月 号

今年も梅雨間近

みなさんお変わりありませんか。新緑も束の間にとっしりと緑を深くしています。五月はあつと思う間に通り過ぎていきました。先日まで弱々しく感じていました稲も、すっかり根付いてきているようです。田圃に近い方は、夜な夜な蛙さんの大合唱で賑やかなことでしょう。季節の変化は本当に早いですね。私は今、この会報を病院のベッドの上で作成しています。

五月九日、頸椎の上から二番目を折りまして、最初運ばれた病院で夕方まで処置をしないと首から下がマヒすると言われ君津中央病院に救急車で転送され、すぐ応急手術を受けまして大げさの表現ですがまさに「九死に一生」に値する経験をいたしました。このように六月の会報を作成できるまで回復しつつあります。

これはひとえに皆様が見えない力で私を引き寄せてくださったものと感謝しています。

言葉では言い尽くしえない不思議さを感じながら

回復への努力に努めています。

皆さまも、「健康は宝」を

目指されて日々ご安全に。



ハローベスト装着（籠の鳥、奴隷??）
このままでは3ヶ月、手術すれば1ヶ月。
術後、回復に合わせ、リハビリを受ける。
最初はベッドに座ることから、車椅子で
トイレに車椅子の運転は難しいです。
3ヶ月から歩行器訓練。自分の足でトイレ
に行けた喜びは最高！（何でもないことが）
訓練中後ろから励ましの
視線を感じながら・・・



7階からの夕景 5月19日

食事も豊かなメニュー



花から元気を
受けて

